

認知症にはこのような症状があります

中核症状

【記憶障害】

- すぐに忘れてしまう
- 覚えることが難しい

【見当識障害】

- 時間や月日がわからない
- 今どこにいるかわからない
- 周囲の人との関係がわからない

【理解・判断力の障害】

- 考えるスピードが遅くなる
- 2つ以上のことを伝えると混乱する
- 新しい電化製品を使うことができない

【実行機能障害】

- 日常生活に必要なことがうまくこなせなくなる
- 服を上手く着ることができない

周辺症状

- 元気がなく、引っ込み思案になる
- 興味・関心がなくなる
- イライラし、怒りっぽくなる
- ささいなことを心配する
- 寝つきが悪くなる
- 自宅にこもりがちになる
- 毎日の食事を市販のお惣菜ですますようになる
- 部屋が散らかり、整理整頓ができない
- 悲観的に物事を考える
- 家族が誰かわからなくなる
- 感情が不安定になる
- 部屋の中を行ったり来たりする
- ソワソワして落ち着かない
- 「嫌がらせをされている」と思い込む
- 実際にはないものが見える、または聞こえる

認知症は、中核症状が進行するにつれて周辺症状が次第に強くなっていく傾向がみられます。中核症状は認知症になると必ずみられる症状で、薬物治療の効果は今のところあまり期待できませんが、周辺症状については「薬物治療」や「適切なケア」によって改善につながる場合があります。

みなさんの適切な対応により、認知症の症状が緩和されることがあります！